

路線バスとコミュニティバスの持続可能な運行について

○市の公共交通機関の状況

鉄道	4路線（JR西日本）、1路線（近鉄）
路線バス	28路線（奈良交通）、1路線（キタモリ交通）
コミュニティバス	4路線（奈良交通）、3路線（ウイング）、6路線（加茂タクシー） 1路線（東洋タクシー）
タクシー	城南タクシー、加茂タクシー、東洋タクシー
福祉有償運送	木津川市社会福祉協議会、手をつないで

※詳細は資料1-2参照

鉄道や路線バス、コミュニティバスを含み48路線、タクシー等の有償運送を含む事業者が5事業者

○公共交通の現状

鉄道	運行便数の維持はしているものの、利用者は減少しており、終電の時間帯を早める等の対応をとっている。※資料1-3参照
路線バス	大きな減便等はずに、運行便数は維持しているが、このまま利用者が減少していくと、不採算路線等減便も視野に入れる必要が出てくる。
コミュニティバス	運行は通常どおり継続しているものの、令和2年度の収支率は大幅に悪化することが予測される。路線バスとの兼ね合いも考え重複路線等の路線改変の検討も必要。 ※利用状況は別紙資料1-4参照
タクシー	他の公共交通機関では前年比2割減少となっているが、タクシーについては、前年度比8割の減少となっている。もともと普段利用は少なくインバウンドや観光利用が多かったため、その部分が減ると大打撃になる。
福祉有償運送	他の交通機関と違い、体の不自由な方が利用するものであるため、一定の利用は確保できているが、病院等に行かないようにする高齢者が増えているため、利用者は減少している。 もともと、タクシー料金の半額程度の運賃で送迎をおこなっているため、微減でも運営に支障をきたしているが、登録者はのびているため、登録者への利用促進に努める。

○コロナ禍での安心安全について

今年度の取組

- ・車両の抗菌コーティング施工
- ・車内の喚起
- ・除菌アルコール設置
- ・乗務員の乗車前の検温、マスクの着用
- ・乗務員の健康管理等の徹底
- ・上記取組を公共交通日より（令和2年9月号）や市・各社HPでのPR実施

- ・コミュニティバスを利用した観光ルート等の紹介

公共交通日より令和2年 6月号：美仏探訪

令和2年10月号：木津川市リアル謎解きゲーム

令和2年11月号：秘宝秘仏特別公開・開扉

令和3年 1月号：木津川市周遊クーポン・初詣

- ・免許返納者へのICOCA、一日フリー乗車券の配布

交付実績：ICOCA 251件

：フリー券 29件

- ・車内抗菌コーティング事業補助金

対 象：市内路線バス、コミュニティバス運行事業者

交付決定額：奈良交通1,352千円（平城営業所全台数の路線延長割）

：加茂タクシー100千円（コミュニティバス登録分10台）

- ・観光誘客確保維持支援金（路線数又は車両数に応じて補助）

対 象：市内に営業路線を有するバス事業者・市内に事業所を置くタクシー事業者

交付決定額：奈良交通 2,900千円

：京阪バス 100千円

：城南タクシー 700千円

：加茂タクシー 300千円

：東洋タクシー 350千円

：山城タクシー 150千円

○今後の取組みについて（新規、継続案件含む）（中長期的なものを含む）

■利用機会の提供

- ・公共交通全体がわかる MAP を作成（新規）
※広告掲載のアンケートを商工会をつうじて、市内事業者に実施予定（4月）
- ・一日乗車フリー d a y の実施（新規）
- ・妊婦検診、乳幼児健診や小中学校への乗り方教室の実施（新規）※実施検討
- ・公共交通事業者と連携したイベントの案内（継続）
- ・免許返納者への ICOCA、1日フリー乗車券の配布（継続）

■情報提供の充実

- ・公共交通だよりによる啓発（継続）
- ・交通結節点における情報提供（継続）
- ・各種イベントに合わせた公共交通の利用案内（継続）

■利便性の向上

- ・デマンドタクシー運行形態の検討（新規）
- ・with コロナを見据えたコミュニティバスの改善検討（新規）
※利用の少ない路線の小型化、重複路線の統廃合、利便性の高いルート改変等の検討
- ・各交通機関の連携、接続を考慮したダイヤ改正（継続）

■市民意識の醸成

- ・ワークショップの開催（継続）
- ・標語の募集、横断幕の掲示（継続）
- ・ネーミングライツ（継続）

■コロナ禍での対策

- ・タクシー利用者への利用料補助（新規）
- ・コロナ交付金を活用した支援事業の検討（継続）
- ・安心・安全の P R（継続）